

- 韓国光州市立美術館にてBankART展開催!
- 大野一雄フェスティバル2015開催
- アートと都市を巡る横浜と台北展が開催されました!
- BankART妻有2015
- 日韓交流の新しい可能性part2が開催されました!
- 2015年10月～12月 展覧会情報

BankART NEWS 4

発行: BankART1929
2015年9月24日発行



「都市に棲む～BankART1929のアクティビティ」 韓国の光州市立美術館にて開催!

会場: 光州市立美術館企画展示室 2F (約800m²) 会期: 2015年11月6日[金]～12月3日[木]

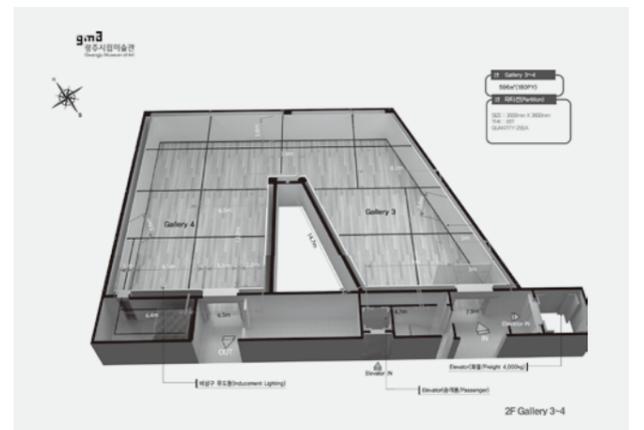
BankART1929が10年間、都市の中でこれまでおこなってきた仕掛けや仕組み、構造、展覧会等の日頃の活動が伝わるようなダイナミックなプレゼンテーションをクリエイターと協働します。この展覧会は、昨年の「東アジア文化都市」と継続して続けている「続・朝鮮通信使」をリレーする催しです。展覧会にあわせて英語版の『BankART1929』出版予定。

参加クリエイター: 松本秋則、高橋啓祐、開発好明、小泉アトリエ、みかんぐみ他

主催: BankART1929 共催: 横浜市文化観光局 特別協力: 光州市立美術館



プラン参考写真



大野一雄フェスティバル2015 「生活とダンス」開催

2015年10月3日[土]～10月25日[日]

会場: BankART Studio NYK

ユヴァル・ピック(フランス)、大野慶人、
ANTIBODIES、向雲太郎、立石裕美、
アレサンドラ・スーティン(ジンバブエ)、ジュリー・ヤリソア(マダガスカル)

主催: 大野一雄舞踏研究所、BankART1929 共催: 横浜市文化観光局

大野一雄フェスティバル2015が始まります。「生活とダンス」を緩やかなテーマとして、日本、フランス、ジンバブエ、マダガスカルのアーティストがNYKの空間でダンス作品を制作し、発表します。横浜の姉妹都市リヨンからやってくる振付家ユヴァル・ピックの新作は「YK15」、つまり「YOKOHAMA2015」。フェスティバルオープニングで世界初演されます。どうぞご期待下さい。

予約・問い合わせ BankART1929
公演ご予約は、氏名、連絡先、公演名、観覧日、開演時間をお書き添えの上、下記にメールをお送り下さい。電話またはFAXでのご予約も承ります。
E-MAIL: ohnofes@bankart1929.com
電話: 045-663-2812
FAX: 045-663-2813

ダンス公演

入場料: 前売り2,500円、当日3,000円(学生・シニア各500円引き)

ユヴァル・ピック「loom」+「YK15」
10月3日[土] 18:00- / 10月4日[日] 14:00-

大野慶人「花と鳥」

10月16日[金] 19:30 / 10月17日[土] 18:00 / 10月18日[日] 14:00

ワークインプロGRESS上演

入場料: 前売り2,500円、当日3,000円(学生・シニア各500円引き)

「Dugong」ANTIBODIES Collective

10月12日[月・祝] マチネ15:00- / ソワレ19:30-

「Butoh? in Progress」「1960イチキューロクマル」他 滞在アーティスト作品マラソン上演

向雲太郎、立石裕美、アレサンドラ・スーティン、ジュリー・ヤリソア
10月23日[金] 19:30- / 10月24日[土] 18:00- / 10月25日[日] 14:00-

アーカイヴ展示

10月3日[土]～10月25日[日] 11:00～19:00 入場無料



ご存知ですか



「宇徳ビル ヨンカイ」2017年9月まで延長活用!

宇徳ビル ヨンカイは、十数チームがスタジオやアトリエを構え、街づくり、建築設計、デザイン、写真、絵画、立体作品等、様々な創作活動を展開するクリエイティブコミュニティ。北仲 BRICK&北仲 WHITE、本町ビルシゴカイの活動を継ぐ創造界隈拠点。2015年9月末で終了予定でしたが、2017年9月末まで延長されました。

401・2 オンデザイン / 403 櫻井淳計画工房 / 403 横濱ジェントルタウン倶楽部 / 403 悦計画室 / 404 ステップチェンジ / 404 GEN INOUE / 404 abanba / 405 NOGAN(ノガン) / 406A(株)アトリエ・モバイル(丸山欣也他)[新入居] / 406B 前田篤伸建築都市設計事務所 / 407A 共同アトリエ / 407B 岩間正明、三浦かおり、寺田忍、渡邊聖子、鈴木貴美子、中川達彦[新入居] / 408 合同会社 ZECU、櫻村和美、佐藤未来+吉田ゆう[新入居]

「アートと都市を巡る横浜と台北」展 日台シンポジウムが開催されました!

「アートと都市を巡る横浜と台北」展年月日[金]月日[日]シンポジウム「まちにひらかれた創造の拠点横浜創造都市と台北の歩み」月日(日)坂元 卯(象設計集団 代表取締役)、林 崇傑(台北市産業発展局長)、丘 如華(台湾歴史資源經理学会事務局長)
林 宜珍(忠泰建築文化芸術ファンデーション事務局長)、秋元康幸(横浜市建築局企画部長)、池田 修(BankART1929代表)、青井哲人(明治大学准教授)、コーディネーター: 鈴木伸治(横浜市立大学教授)
横浜・台北クリエイターミーティング | 黄 姍姍(キュレーター)、戴 開成(台日文化研究者)、孫 啓榕(建築家)、横浜創造界隈の建築家



BankART Studio NYK 全館を使用して、開催したこの展覧会は10年間の交換アーティストレジデンスプログラムの集大成にあたるものです。10年前、横浜市と台北市は、スポーツ等も含む5つぐりの部門で交流事業を始めたのですが、そのひとつの芸術部門が現在も継続されています。その活動の台北の施設がTAV、横浜はBankART1929でした。

シンポジウムは、こうした芸術活動そのものに焦点をあてるのではなく、このふたつの施設や活動を支えている、あるいは創成したといってもいい街づくりに焦点をあてた議論を行ないました。横浜市が推進してきている創造都市、そして台北でも同様に展開されてきている古い建物を活用しながら、街づくりを行なうというURSのプログラム。紆余曲折を経て、両都市では、現在様々な展開を見せています。今回はこのプロジェクトに関わっている重要な人たちをお招きしてお話を伺いました。

また、第一部の特別レクチャーとしては、沖縄の名護市庁舎等でも有名な、象設計集団の代表を招いて、約30年に及ぶ台湾での活動のお話を伺いました。その後、横浜の創造界隈のクリエイターと台北のクリエイターを招いてのミーティングと交流会を開催し、両都市のクリエイター同士の出会いの場となりました。

BankART妻有2015

今年も「BankART 妻有」の目指すところは「普通の家」だ。「農家」だった建物を譲り受けて、大地の芸術祭の一点になったときに考えたことは、作品化というよりも、「家」として機能させ、そのままをみてもらうということだった。冬は私たちが住めないし、他のシーズンも住んでいるわけではないが、会期中は、スタッフが寝泊まりし、作品とともに暮らし、他人を招き入れる、そんな「家」を目指してきた。おかげさまで、今年も、ワークショップやAIRプログラムもあり、山奥の端に位置する割には、多くの方が訪れてくれ、無事にひと夏を過ごすことができた。トビックスといえば、地震と大雪でやられた少し歪んでしまった家をジャッキでおこしてもらい、プレースを入れて補強してもらったことだ。雨で畳をダメにするぐらいひどかった建具も閉まるようになった。背筋が少し伸びたような気がする。修繕というごく当たり前のことをアートというべきでないのかもしれないが、私たちは、こうした営みが最も大切な仕事(アート)だと考えている。それは過酷な自然との水面下での戦いを続けている大地の芸術祭の他の作品と協働していると感じているからだ。



シンポジウム「日韓交流の新しい可能性part2 ～朝鮮通信使を起点に～」が開催されました!

BankART が継続的に展開している「続・朝鮮通信使」に関連した日韓のシンポジウムが、越後妻有大地の芸術祭の開催される中、十日町情報館で開催された。ここは1999年に内藤廣氏により設計された大きな図書館を中心にした施設で、初回2000年の大地の芸術祭で展示会場のひとつになった場所だ。

パネラーには、韓国から京畿文化財団文化芸術本部本部長チャ・ジェグン氏、朝鮮通信使研究の大家である仲尾 宏氏、建築史家であり世界各地で遺産保護や都市計画、デザイン振興などの広範な活動をされている三宅理一氏、そして大地の芸術祭総合ディレクターである北川フラム氏を迎え、BankART 代表の池田が、僭越ながら司会をつとめた。内容的には、朝鮮通信使関係の深い理解者であり実践的に推進されている様々な立場の方々が集まって下さったので、かなり濃いものとなった。

BankART にとっては「BankART 妻有」があるとはいえ完全にアウェイでの主催イベントだったが、地元の人たちや、遠方からの旧友や横浜の知人、友人が駆けつけてくれ、パネラーとともにこの場を共有することができたことは、次の一歩への大きな示唆ともなった。

妻有で行なわれていること、江戸時代に日韓で行なわれていたこと、それをリレーしていく現代の動き、これからの日韓のこと、アジアのこと、日常と非日常のこと、政治のこと、政治を越えること、等々。だいぶ涼しくなった妻有での、熱い想いの一泊だった。



BankARTschool だより スクールの近況をお伝えします。

今福龍太「〈叛アメリカ〉の知的戦士たち」 2015年9月～10月期[金]

独自の切り口から幅広い分野の批評活動を展開する文化人類学者、今福龍太さんのバンカートスクール講座が始まりました。スクールでの今福講座は、2010年春開講の「スキャンダル考」に続き2回目です。今回は先端的芸術が社会に生まれ出る有り様をめぐり、アメリカの批評家スーザン・ソントグを取り上げました。今回は、近刊の著書「ジェロニモたちの方舟」をテキストに「〈叛アメリカ〉の知的戦士たち」と題して連続講座を行います。初回はヴィム・ヴェンダース監督のドキュメンタリー「セバスチャン・サルガド」を一部鑑賞し、映像と写真の根源にある可能性についても言及しました。挑発的なテーマに集まったスクール生は大人数ではありませんが、氏の静かで軽妙な語り口で進められる講座は、次代の鼓動に耳を澄ます、まさに現代の「寺子屋」のようです。



2015年10月～12月の 主なコーディネイト事業

日産アートアワード2015

2015年11月14日[土]-12月27日[日]
11:00-19:00(11月24日は休み) 入場無料
グランプリ発表・授賞式:11月24日(火) *招待客のみ
会場:BankART Studio NYK 2F

「日産アートアワード」は、アートプロフェッショナルにより推薦された33名のアーティストの中から、国際審査委員がファイナリストを選出するプログラム。その後、BankART Studio NYKにて開催される展覧会での作品展示を経て、グランプリ受賞者が決定される。受賞者には、賞金に加えて、2ヶ月間にわたるロンドン滞在の機会が提供される。

【ファイナリスト】

岩崎貴宏、久門剛史、毛利悠子、秋山さやか、石田尚志、米田知子、ミヤギフトシ

主催:日産自動車株式会社
企画運営協力: NPO法人アーツイニシアティブウキョウ[AIT/エイト]
協力:カムデン・アーツ・センター 展覧会協力: BankART1929



WHITE FUSION 広松木工家具個展2015

9月18日[金]-9月27日[日] 会場:NYK 3F
主催:広松木工株式会社

劇団やぶさか公演「千夜一夜物語」

9月25日[金]-9月27日[日] 会場:kawamata hall
主催:劇団やぶさか

演劇公演「横浜黄金町パフィー通り」

10月9日[金]-10月12日[月・祝] 会場:kawamata hall
主催:「黄金町パフィー通り」制作委員会

2015 国際女性コンテンポラリー・アート・フォーラム
11月14日[金]-11月25日[金] 会場:NYK 3F

編集後記

□国、行政、創造界隈、BankART 本体、海外との関係……。今年の天候と同じように、どこの断面できてみても、いろいろ、そわそわ、もぐもぐ、どきどきが続く。とても、落ち着いて仕事ができているとはいえない。こんなときこそ、深呼吸と背伸びをしながら、秋の広い横浜の空を見上げてみよう。

BankART 1929 office (BankART Studio NYK)

〒231-0002 横浜市中区海岸通3-9

TEL: 045-663-2812 FAX: 045-663-2813

info@bankart1929.com www.bankart1929.com

□アクセス 横浜みなとみらい線「馬車道駅」

6番出口(赤れんが倉庫口)徒歩5分